

電鍍槽の電流密度分布解析



背景

1. 目的

これまでの経験で実施してきた電鍍膜厚を平坦化する技術の技術的な裏付けが欲しい。

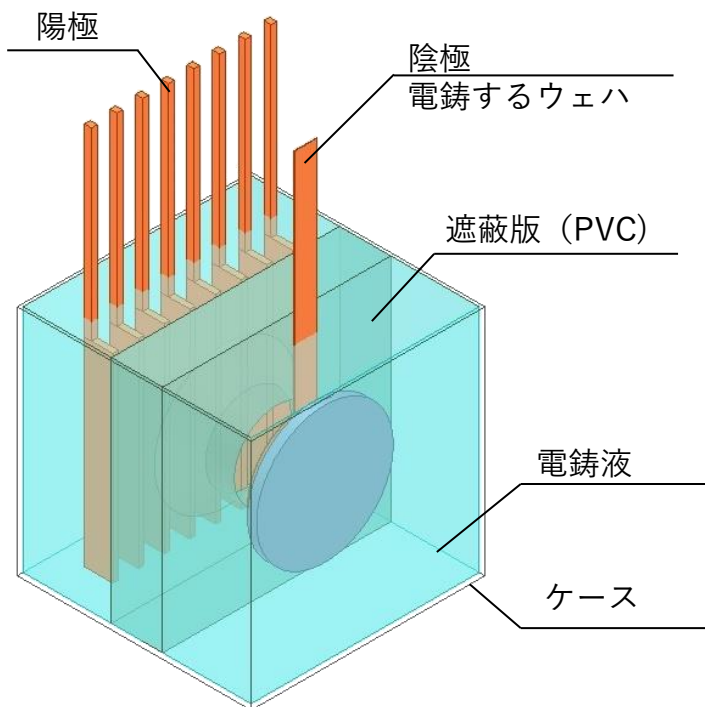
2. 課題

- ・陽極板の形状や遮蔽版の効果を可視化したい。
- ・経験的な改善方針の定量的な効果が見たい。

基本情報

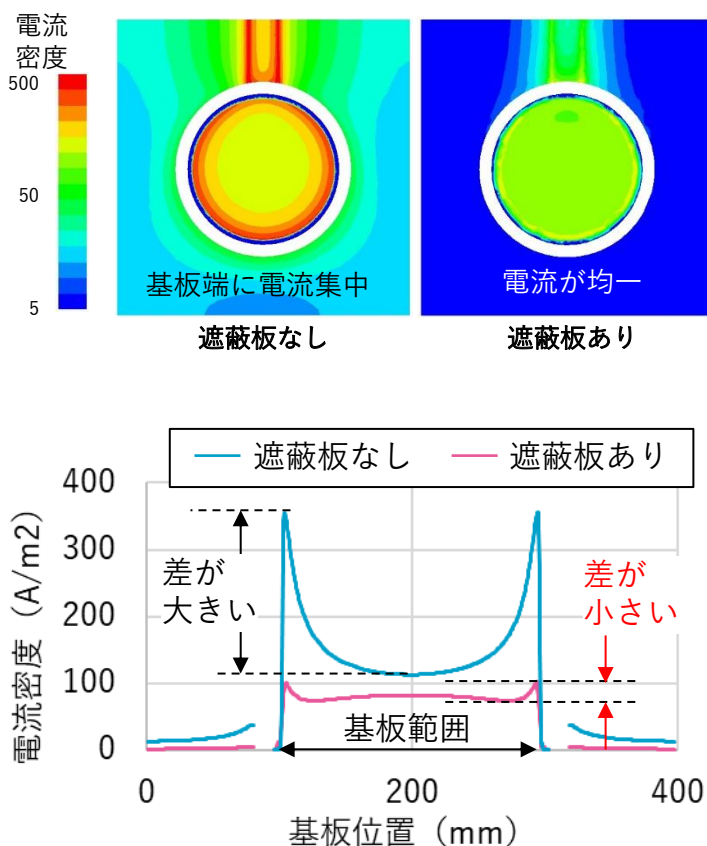
種類	電磁界
解析レベル	低
期間	数日
支援方法	共同研究
ソフト	Ansys Maxwell

解析モデル



解析モデル

解析結果



まとめ

- ・これまで感覚的に実施してきた電鍍の厚みを均一にする方法の効果を可視化して確認することができた。
- ・定量的なグラフにすることで、最適な設計を検討することができた。
- ・展示会で自社技術をアピールすることができた。